

# 特集 大雨から身を守る

いつもの道、いつもの雨。「自分は大丈夫」——そう思っていませんか。これまでの日常が、突然危険な状況になることがあります。しかし、水害は事前の備えによって被害を減らすことができます。大切なのは、危険を「知る」こと、早めに「行動する」こと、そして日頃から「備える」ことです。自分と大切な人の命を守るために、今、できることを考えてみませんか。

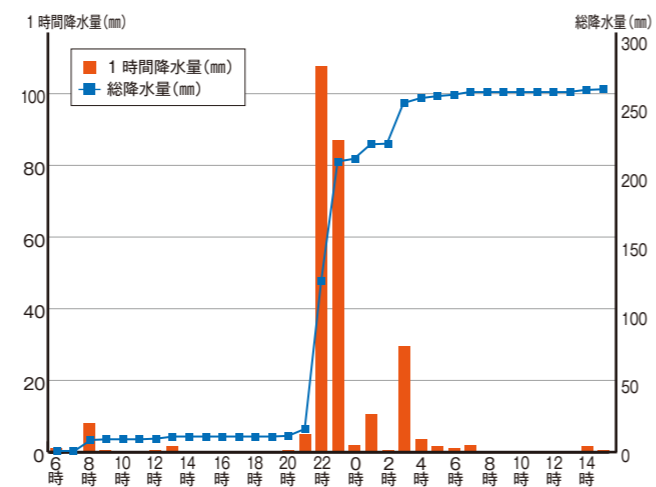
- 1 道路は冠水し、走行する車から大きな水しぶきが上がった（新正）
- 2 大雨で増水した水路 3 浸水した住宅街（赤堀）
- 4 報道陣向けに公開された地下駐車場
- 5 水につかりながら進む車
- 6 川のようになった道路（鶴の森）
- 7 冠水で浮いてぶつかったとみられる地下駐車場の車両
- 8 冠水した駅前ロータリー（智積） 9 10 崩壊したのり面
- 11 激しい雨により冠水した商店街。足元に注意しながら歩く人々

令和7年9月12日、四日市市に1時間123.5ミリの猛烈な雨が降りました。雨音が強まり、側溝から水があふれ、道路が川のように変わっていく。いつもの風景が、ほんの短時間で一変しました。

## 時系列で振り返る災害の記録

- 9月12日(金)**
  - 17:14 大雨注意報発表
  - 19:09 大雨警報（土砂災害）・洪水注意報発表
  - 19:50 洪水警報発表
  - 19:55 土砂災害警戒情報発表
  - 21:53 大雨警報（浸水害）発表
  - 22:08 記録的短時間大雨情報
  - 22:14 123.5ミリ/時を観測
  - 22:40 避難指示発令  
(常磐、日永、浜田、共同、中央、港、塩浜、四郷、川島)
- 9月13日(土)**
  - 02:47 洪水警報、大雨警報（浸水害）解除
  - 04:05 土砂災害警戒情報解除
  - 06:00 避難指示解除
  - 06:41 洪水注意報解除
  - 07:52 大雨警報（土砂災害）解除
  - 15:28 大雨注意報解除

四日市市での1時間降水量



幸いにも、人的被害（負傷者）は出ませんでした。公共施設や、商店街、住宅などで床下・床上浸水被害がありました。また、公共交通機関の一時運転見合わせや、停電も発生しました。

## 災害に強い体制づくりを進めています

市役所本庁舎をはじめとした公共施設でも浸水被害が発生。現在、市では、短時間の大雨に備え、公共施設の対策強化を進めています。

### 市役所および総合会館



本庁舎および総合会館では、近年の大雨の発生状況を踏まえ、浸水対策や初動対応体制の強化を進め、設備や資機材の整備を行いました。短時間の大雨にも迅速に対応できるよう、止水対策を開始する判断基準を整理するとともに、初動対応手順の見直しを進めています。引き続き、庁舎利用者の安全・安心の確保と機能維持に取り組んでいきます。



資産マネジメント課 西村

### 応急診療所



金曜日の大雨の影響を受けましたが、排水や消毒作業を速やかに行い、日曜日の診療を行うことができました。必要資材の確保や迅速な作業体制づくりの重要性を改めて認識しました。現在は、復旧対応に必要な作業用具の配備や、固定電話が不通時の代替連絡手段や周知方法についても見直しを行い、災害時に備えた体制強化に取り組んでいます。



保健企画課 田中

# 総合治水対策「雨に強いまちづくり」

昨年9月の大雨では、貯留管や雨水ポンプ場などの排水施設は十分に機能したものの、それらの処理能力を上回る記録的な短時間降雨となったため、中心市街地とその周辺で浸水被害が発生しました。近年、都市化の進行や、多発する局地的大雨により、従来よりも雨水が短時間に集中して河川や下水道に流れ、これまでの雨水対策だけで浸水被害を防ぐことが難しくなっています。

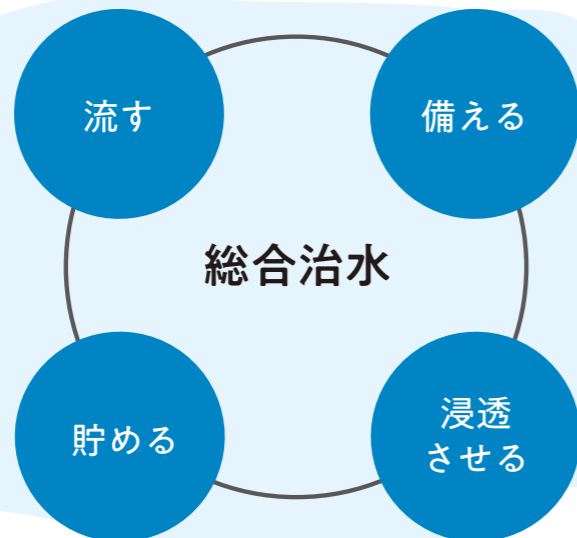
本市では、河川や下水道、ポンプ設備などの整備といった雨水を「流す」対策に加え、雨水を一時的に「貯める」対策や、地下に「浸透させる」対策、浸水してもその被害を軽減するための「備える」対策を効果的に組み合わせる「総合治水」に取り組んでいます。



河川、下水道管、水路、ポンプ設備などの整備



雨水流出抑制のための雨水貯留施設などの設置



情報伝達システムの整備、ハザードマップ、防災訓練などのソフト対策



雨水を一時的に貯めて、浸透を促す雨庭

## 現在取り組んでいる事業

### ソフト対策

#### 防災システム整備事業

道路冠水などを検知する小型の浸水センサ（ワンコイン浸水センサ）の検知情報や、ため池水位情報を市の安全安心防災メールで、自動配信する仕組みを構築します。



ワンコイン浸水センサ

また被害の早期把握と対応の迅速化を図るため、SNS投稿を活用して被害状況を把握するシステムを導入します。

#### 止水板等設置促進事業

市民や事業者が主体的に行う浸水防止対策を支援し、被害の最小化を図るため、止水板の設置工事、購入費用の一部を補助します。



止水板の設置イメージ

- 補助率 対象経費の2分の1(補助上限金額 50万円)
- 対象区域 市内全域

### ハード対策

#### 準用河川堀川内水対策



放水路の整備状況

令和8年度末に完成予定の三滝新川分派の整備に合わせ、海蔵川へ流入する準用河川堀川の内水対策として放水路および排水場を整備しています。

#### 六呂見調整池整備



整備イメージ(泊ヶ丘調整池)

大雨が降った際に雨水を一時的に貯め、浸水被害を軽減します。貯留量は、小学校のプール約67杯分です。

#### 新阿瀬知ポンプ場整備



整備イメージ(雨池ポンプ場)

中心市街地周辺に降った雨水をポンプで海へ排水して浸水被害を防ぐ施設です。小学校のプール約6杯分を1分間で排水します。

# 知識こそ防災力。想定外も想定内に。

自然災害は、突然発生し、誰にでも起こりうることです。災害時に、身の回りでどういったことが起こりうるのか確認しておきましょう。



## 大雨で起きる被害

昨年9月の大雨では中心市街地を中心に大きな被害が出ましたが、災害はどこでも起こる可能性があります。自宅の裏に山がある、川が近くを流れているなど、地形によって注意すべきことが異なりますが、事前に危険性を把握しておくことが、命を守る行動につながります。

### 内水氾濫



降った雨の量が排水能力を超えたときに、道路や住宅地に水があふれる現象です。低い土地で起こりやすく、アンダーパスや地下施設では、水がたまる危険があります。

### 河川の氾濫



川の水位が上昇し、堤防を越えたり決壊したりすることで、周辺の地域が浸水します。一度氾濫すると水の勢いが強く、避難が困難になることがあります。普段は穏やかな川でも、注意が必要です。

### 土砂災害



長時間の雨や集中豪雨によって地盤が緩み、がけ崩れや土石流が発生します。一瞬で状況が悪化するため、早めの避難が重要です。

## ハザードマップを活用しよう

## あなたはどんなところに住んでいますか？



土砂災害や河川洪水などの複数のハザード情報を集約した防災ハザードマップをホームページで公開しています。本市で想定される災害を知り、それぞれの状況に応じて必要な対応を考え、日ごろから備えるという、3ステップで構成されています。

### ハザードマップで見るポイント

- 自宅のある地域の災害リスク
- 通学・通勤に使う道路の災害リスク
- 家族の職場や学校のある地域の災害リスク
- 避難場所



防災ハザードマップ

## 事前に家族で話し合いましょう

家族で風水害対策に関する知識と心構えを共有する際には、過去の風水害を教訓にして作られた「マイ・タイムライン」を活用しましょう。使い方は簡単で、居住エリアの洪水リスクを知り、どのような避難行動が必要か、どういうタイミングで避難するのがよいかを考えながら、防災行動を時系列に整理してシートに記入していきます。

シートは防災ハザードマップの103ページに掲載しています。ぜひ、活用してください。



# 「この雨、大丈夫かな?」と思ったら

行動する



大雨や集中豪雨、台風などの風水害に備え、皆さんは防災情報を確認していますか。風水害のおそれがあるとき、迅速に行動するためには情報収集が必要不可欠です。本市ではメールやスマートフォン用アプリ、SNSなどのさまざまなシステムを活用して、緊急情報を発信しています。自分にあった情報取得手段を選び、緊急情報を取得できるようにしてください。



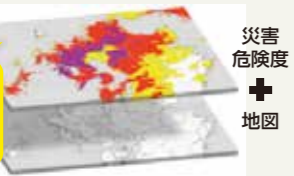
## 「危険度分布 (キキクル)」で危険度を確認

気象警報が発表されても、「どこが危険なのか分からない」と感じることはありませんか。気象庁の「危険度分布 (キキクル)」を使えば、大雨による土砂災害・浸水害・洪水害の危険度を地図上で確認できます。



### 雨による災害の危険度を地図上にリアルタイム表示

自分がいる場所の災害の危険度を地図上で確認できます。

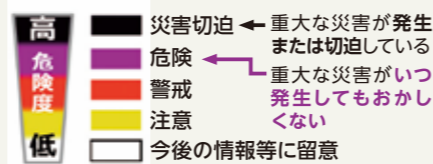


災害危険度 + 地図

### 災害の種類別に危険度を表示

- 土砂キキクル (土砂災害)
- 浸水キキクル (浸水災害)
- 洪水キキクル (洪水災害)

### 危険度を5段階に色分けして表示



※洪水キキクルの「今後の情報等に留意」は水色表示

こちらもチェック! /

### 四日市市カスタマイズ版

気象台からのコメントや警報・注意報の発表状況、雨雲の動きをまとめて確認できます。



### 雨量・水位・ライブカメラ

市内の雨量や各河川の水位・映像を、リアルタイムで確認できます。



## 災害情報をさまざまな手段で発信 (ワンオペレーション情報配信システム)

市では、複数の情報伝達手段を組み合わせることで同時に発信する「ワンオペレーション情報配信システム」を構築しています。

たくさんの情報が集まります

- 国・県の情報
- キキクル (危険度分布)
- 雨量観測データ
- 水位観測データ
- 警報・注意報の発表情報
- SNSの情報 など

集約 一斉配信

防災行政無線



四日市市Sアラート



四日市市安全安心防災メール

- 緊急速報メール (エリアメール)
- SNS (X・LINE)



緊急告知ラジオ (CTY-FM)



緊急時に自動で電源が入り、情報をお知らせします。購入補助制度あり。詳しくは、市ホームページへ

CTY (L字放送)



備える



# いつもの備えが、いつかの助けに

乳幼児や高齢者、アレルギーや持病を抱えている人など、人によって必要な備えはさまざまです。何から何まで、すべてを揃えようとする、きりがありません。いざという時に、自分たちにとって最低限必要なものは何かを考え、備えるようにしましょう。

## 災害時の備え (例)

- 携帯用飲料水
- 食品 (非常食、缶詰、ビスケット、チョコレートなど)
- 貴重品 (通帳、印鑑、現金)
- ヘルメット (頭部を守るもの)
- 軍手
- 懐中電灯
- 毛布
- 携帯ラジオ、予備電池
- マッチ、ろうそく、使い捨てライター (水で濡れないようにビニールに入れる)
- ウェットティッシュ、タオル
- 口腔ケア用品 (液体歯磨きなど)
- 救急用具 (常備薬、救急セット)
- モバイルバッテリー

## 家族構成や事情に合わせて必要なもの

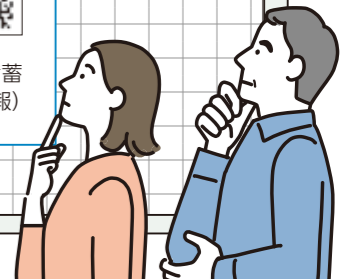
- 持病薬、お薬手帳
- 眼鏡、コンタクトレンズ用品
- 入れ歯、洗浄剤
- 生理用品
- 紙おむつ
- ミルク、哺乳瓶用品
- 離乳食

など

今すぐ必要なものを CHECK



災害に備えた備蓄 (四日市市防災情報)



## ローリングストックで備えよう



普段の生活で使っているものを少し多めに買って、使ったら買い足していくという方法がローリングストックです。防災用の備蓄と聞くと、ハードルが高く感じますが、災害時は、お菓子やコーヒーといった自分の好物を口にすることで、気持ちが軽くなるともいわれています。普段からよく食べる食料や使用する日用品を余分に買い、使った分を買い足していくことで、自然と自分に合った備蓄を行うことができます。

## 自分、そして大切な人のために

風水害は事前の備えや早めの行動によって被害を軽減できる災害です。重要なのは、「特別なこと」をするのではなく、日常の中で少しずつ備えを積み重ねていくことです。自分、そして家族の命を守るため、すぐにも災害への備えをしておきましょう。

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は 危機管理課 TEL 354-8119 FAX 350-3022  
河川排水課 TEL 354-8357 FAX 354-8404  
上下水道局経営企画課 TEL 354-8369 FAX 354-8249